

個人5

受 令和 2年11月 24日
付 (午前)・午後 11 時 35分

一般質問 (代表・個人) 通告書

令和2年11月24日

尾張旭市議会議長 殿

氏 名 市原 誠二

尾張旭市議会会議規則第50条第1項の規定により12月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 3 件

2 質問方法

	1回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項 (大項目) ごとに一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1回目から 質問事項 (大項目) ごとに一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. 2	認知症の方やその家族を支える施策について
要 旨	<p>2012年に65歳以上の高齢者7人に1人であった認知症患者数は、2025年には5人に1人という予測があります。今後、家族や医療、福祉関係者だけで認知症に対応することは、ますます困難になってくるのが想定され、街全体で支えていく必要があると考えます。</p> <p>このような状況の中、認知症の方が主体性を持ち生き生きと行動し、安心して生活するためには、いざという時の備えが必要になってくると考えます。すでに、50を超える自治体が、「いざというときの備え」すなわち民間保険を活用した救済制度を導入し、外出先などで認知症の方が起こしてしまう事故に伴う損害賠償請求のリスクから家族を支えています。</p> <p>そこで、以下の3点について答弁を求めます。</p> <p>(1) 尾張旭市の認知症患者数の推移及び今後の想定数について</p> <p>(2) 本市における認知症の方や御家族を支えるための施策について</p> <p>(3) 外出先で起こる事故などから認知症の方や御家族を守る 民間の個人賠償責任保険を活用した救済制度の導入について</p>

申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. 3	民間企業との人材交流による人材育成について
要 旨	<p>職員や従業員の人材育成は、どの組織においても重要なテーマであり、育成のためローテーションなどで複数の職場を経験することが行われております。さらに、将来の幹部の育成にあたっては、幅広い経験や知識に加え、人脈も大切であるとされ、出向等で外部の組織の人間関係や異なる考え方を予め体感しておくことは必要なことと考えます。</p> <p>そこで以下の3点について答弁を求めます。</p> <p>(1) 尾張旭市におけるこれまでの人材交流の実績について</p> <p>(2) 当市の人材交流の目的と効果について</p> <p>(3) 人材交流の更なる拡大について</p>

申し合わせ事項に留意する。